

新設 宮古島市立城東中学校

「プロジェクト型学習」に学校助成金等を活用



私たちの城東中学校は、令和3年4月1日に城辺地区の中学校4校(砂川中、西城中、城辺中、福嶺中)を統合して創立・開校しました。それぞれの学校が73年の歴史に幕を下ろし、新生・城東中学校として歴史の幕を開けました。生徒数は119名(9月1日現在)です。学校の校訓は「進取果敢」です。それぞれの地区の伝統や学びを活かし、協働し新たな知の獲得を目指しています。

その取り組みの一環として、今年から「プロジェクト型学習」に取り組んでいます。このプロジェクト型学習の目的は次の3つが挙げられます。

- 1 主体的学習を促す。
- 2 問題解決やプロジェクト完成など問題を解決する中で進めていく。
- 3 問題を解決する活動は個人だけでなくチームでも行う。



2021年8月20日付 宮古毎日新聞掲載

そして、このようなポイントを重視しながらプロジェクト型学習を実施することで、自分で考え行動する力が身につく、社会に出ても必要な問題解決力や実行力等を養うことが可能になると考えています。

そのような中、(公財)日教弘沖縄支部の学校研究助成事業に応募したところ、助成金を頂くことができました。今後研究を深め実践していく上で大変力となります。

今年はずは初めに「運動会を成功させるプロジェクトチーム」を結成し、プロジェクトリーダーを中心に、生徒主体の運動会づくりを進めてきました。コロナ禍の中で、開催時間の見直し、プログラムの見直し等も余儀なくされましたが、「目指せ必笑! 119の思いを一つに 城東魂」をスローガンに掲げ、今できることを仲間と共に全力で取り組み、運動会を大成功へと導きました。今後も次なるプロジェクトに向けて、更に実践を深めていきたいと思ひます。ご支援に心より感謝いたします。誠にありがとうございました。



公益財団法人 日本教育公務員弘済会沖縄支部は、「教育の振興」と「教職員の福祉向上」を目的として右記の3大事業を行っています。

今年度実績は下記の通りです。(教育実践研究論文は前年度実績)



1.教育振興事業

① 奨学事業 ～無利子で奨学金を貸与・給付～



有為の学生・生徒に対する奨学資金の貸与及び給付を行っています。本年度は貸与奨学金を6月30日(水)、給付奨学金を7月7日(水)に募集を締め切り、選考委員会及び幹事会の議を経て日教弘本部へ推薦しました。

2021(令和3)年度実績 累計

貸与奨学金	国立私立大学院、大学、短大等の学生に最高100万円を無利子で貸与。	38名	5,693名
		31,750,000円	2,718,300,000円
給付奨学金	県内の公立・私立の高等学校等の生徒を対象に給付。(1校3名以内)	276名	4,264名
		13,800,000円	213,200,000円

② 教育研究助成事業 ～教育研究や実践活動の支援～



学校、教職員及び教育関係団体等が行う教育に関する特に有益な研究(活動)に助成しています。本年度は一次募集を6月30日(水)、二次募集を8月31日(火)に募集を締め切り、選考委員会において選考し、幹事会で決定しました。

学校研究助成 159校 15,900,000円 2021(令和3)年度実績(二次募集を含む)

No.	学校名	学校長名	研究テーマ
1	南城市立久高小中学校	島袋 成良	確かな学力を身につけた児童生徒の育成 ～充実した「振り返り」の実践を通して～
2	伊江村立伊江小学校	小波津 京子	「主体的・対話的で深い学びを追求する児童の育成」～見方や考え方が豊かに広がる交流活動の充実を図る
3	石垣市立大浜小学校	仲血 涼子	主体的・対話的に考え運動を楽しむ児童の育成 ～仲間と関わり合う体育活動を通して～
4	宮古島市立池間小中学校	平良 吉嗣	池間島の伝統的な味噌造りに挑戦しよう
5	那覇市立小禄小学校	平敷 兼栄	各教科・領域において目指す資質・能力を身につけた児童の育成 ～互いに高め合う対話を通して～
6	宮古島市立狩俣小学校	松原 伸一	「自ら考え表現することができる子の育成」～思考を活発にする「書く」活動を通して～
7	竹富町立黒島小学校	與世山 操	環境整備及び学校美化の充実
8	南大東村立南大東小学校	望月 雄紀	主体的・対話的で深い学びに繋げる授業改善の工夫 ～児童生徒の学びを見取る視点の追求～
9	多良間村立多良間小学校	与座 篤	児童の思考や活動を促すための「つなぐ」を充実させた授業を通じた思考力・判断力・表現力の育成
10	宮古島市立砂川小学校	松本 尚	主体的に学び考え、表現できる児童の育成 ～説明文における学習過程の工夫改善を通して～
11	石垣市立川平小中学校	大城 豊	豊かな心を育む道徳教育の推進 ～授業と学校生活をつなぐ、自分作り仲間づくりを通して～
12	座間味村立慶留間中学校	二宮 陸生	学びの質を高める、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善
13	東村立東小中学校	永野 正也	対話的な学びを深める交流場面におけるICT活用の工夫 ～小規模校の特性を活かして～
14	宮古島市立城東中学校	比嘉 豊樹	「自らの良さに気づき、可能性を伸ばす生徒の育成」～プロジェクト型学習を通して～
15	宮古島市立西辺中学校	友利 和広	主体的に問いを持ち探求する生徒の育成 ～主体的・対話的で深い学びのある授業づくりを通して～
16	宮古島市立上野中学校	渡久山 英徳	宮古島市花であるブーゲンビリアや学校菜園で野菜や果物の栽培を通して心を豊かにする
17	沖縄県立名護高等学校	辻上 弘子	学校教育のICT化に係る研究 ～教育機器を活用した授業改善について～
18	沖縄県立泊高等学校定時制課程夜間部	玉城 智枝美	効果的なICTを活用した授業の研究
19	那覇市立城南小学校	安谷屋 正史	花いっぱい校庭で、児童の豊かな心を育てる!
20	沖縄市立中の町小学校	上門 健作	主体的に学び、考えを深める児童の育成
21	中城市立中城南小学校	玉城 有	研究主題「よりよく考える授業の創造」副題「問いが生まれる教師の働きかけ」
22	豊見城市立とよみ小学校	上原 義仁	批判的思考力の育成 ～対話的な学びにおけるスキルの活用を通して～
23	西原町立西原小学校	大庭 真由美	国語科における思考力・表現力を育む指導の工夫 ～説明的な文章の段階的な「書く」指導を通して～
24	今帰仁村立兼次小学校	島袋 剛	「安全・防災教育並びに事前防災」強化の研究 ～6年間を見通した指導と組織的対応の充実を通して～
25	北谷町立北谷第二小学校	知念 哲也	「自分の考えを深め、表現できる児童の育成」～国語科における「読むこと」の学習を通して～
26	沖縄市立美東小学校	徳村 恵子	自分の思いや考えを表現できる児童の育成 ～言語活動の充実を図る国語科の授業づくりを通して～
27	宜野湾市立志真志小学校	天願 直光	思考し、判断し、表現する子の育成 ～教材分析と発問構成の工夫を通して～
28	沖縄市立室川小学校	上原 妙子	一人一人が笑顔で登校したくなる学校づくり ～授業改善と児童理解の促進を通して～
29	宮古島市立福嶺小学校	西里 純二	「育成すべき資質・能力を見取った、指導と評価の一体化の授業実践」
30	浦添市立前田小学校	新川 美紀	つながりかわりながら、深めた考えを伝えられる児童の育成 ～ESDの視点を取り入れた教科等横断的な授業づくりを通して～
31	南風原町立南風原小学校	與那嶺 靖	「児童一人一人が成長する楽しさ」を味わい、人権尊重の精神に立った学校づくり
32	石垣市立名蔵小中学校	池田 幸作	共に認め、高め合う道徳教育の推進と授業改善を通じ、自ら学び心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指す
33	名護市立屋部小学校	赤松 啓介	学ぶ喜びを育み、他者と関わりながら課題を解決する児童の育成

No.	学校名	学校長名	研究テーマ
34	うるま市立南原小学校	新城 剛	ICTを活用した情報教育の充実 ～情報活用能力の育成と情報モラル指導の充実～
35	那覇市立古蔵小学校	仲間 一史	思考力・表現力・判断力を育てる「言語活動」の充実 ～「説明的文章」の「読み・書き」指導を通して～
36	沖縄市立越来小学校	上江洲 卓	自ら考え、表現できる子の育成 ～説明的文章における言語活動の充実及び学級での組織づくりを通して～
37	那覇市立立久小学校	宮城 寿子	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の工夫 ～ICTを効果的に活用した授業づくりを通して～
38	うるま市立勝連小学校	金城 通彦	主体的・対話的で深い学びの実現 ～ICTを活用した授業づくりの工夫改善～
39	糸満市立兼城中学校	屋良 直子	思考力・判断力・表現力等を高める指導法の工夫改善 ～対話を意識した授業展開の工夫を通して～
40	与那原町立与那原中学校	垣花 英正	自ら学習に取り組み、思考・判断・表現できる生徒の育成 ～学びの姿の見取りを生かした「与那原中スタンダードⅡ」による授業改善を通して～
41	那覇市立金城中学校	比嘉 清喜	主体的な学びをうながす授業の工夫 ～考えを深め合う交流場面の工夫と評価を通して～
42	沖縄県立豊見城高等学校	津野 良信	情報機器を活用した授業展開・指導法の研究
43	沖縄県立八重山高等学校	黒島 直人	「志ある自己実現」のためのキャリア教育の充実 ～やいまを識り、やいまを守り、やいまを継ぐ～
44	沖縄県立八重山特別支援学校	浦崎 達夫	教育メディアとしてのゲームの活用 ～コミュニケーションを促すゲームを用いた学習の試み～
45	八重瀬町立白川小学校	仲村 秀也	「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり ～一人学び・対話的学びを通して～
46	浦添市立神森小学校	狩俣 直美	目的意識を持ち、自立した生活を目指す児童の育成
47	那覇市立開南小学校	島袋 優	安全安心な学習環境の構築
48	南城市立馬天小学校	嶺井 靖之	「問い」を持ち他者と関わりながら、主体的に課題を解決する児童の育成 ～系統的な「割合」指導における「マイノート」(馬天小授業プランシート)を活かした授業づくりを通して～
49	中城市立津覇小学校	和智 重徳	主体的に学び、共に学び合う児童の育成 ～豊かな言語活動で「問い」が生まれる授業を通して～
50	名護市立立北小学校	仲宗根 勝也	「きく学校」を指標にしたよりよい学校生活の構築 ～Q-Uを活用した教育相談の推進を通して～
51	今帰仁村立今帰仁小学校	屋良 篤	確かな学力を身につけた児童の育成 ～新学習指導要領に沿った授業づくりを通して～
52	糸満市立米須小学校	多賀 明彦	一人も独りにせず、だれもが学び続ける授業の工夫
53	糸満市立高嶺中学校	有銘 真一郎	自己実現をめざし自ら考え判断し学習する生徒の育成 ～キャリア教育を中核とした実践を通して～
54	伊是名村立伊是名中学校	宮城 研治	「つながり 支え合い、自己肯定感を高め合う学び」～一人残らず、すべての生徒の学びを保障する教育活動～
55	名護市立名護中学校	根道銘 国斗	名護中生の誇りを持ち、真を見極め名護中文化を創造する生徒の育成
56	沖縄市立美里中学校	宮里 佳克	指導と評価の一体化に向けた工夫・改善 ～評価項目の焦点化とPDCAサイクルを通して～
57	沖縄県立北谷高等学校	末吉 康徳	「学びの保障」を踏まえ、地域の人材の活性化や基礎・基本と生き抜く力を備えた社会に貢献できる人材育成
58	沖縄県立宮古工業高等学校	知念 俊一郎	宮古島の子どもたちに安心・安全を届けたい ～ペダル式アルコールスタンドの製作～
59	沖縄県立中部農林高等学校 定時制課程	新垣 博之	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善
60	沖縄県立美来工科高等学校	高屋武 勝	汎用フリス盤の技能向上をめざして
61	沖縄県立具志川高等学校	富里 一公	生徒個人のスマートフォンやタブレット端末の活用等、ICT機器を活用した教育の研究 (BYOD検証校)
62	沖縄県立嘉手納高等学校	厚良 淳	「総合学科の特色を活かして『学びに向かう力』を育成するシステムの研究・実践」
63	沖縄県立陽明高等学校	宮城 哲夫	学びを止めないためのICT教材を活用した教職員の資質向上に向けて
64	沖縄県立向陽高等学校	金城 正樹	総合的探究の時間をとおして、主体的・協動的な態度を持ち積極的に探究活動に取り組む生徒の育成を図る研究
65	沖縄県立南部農林高等学校	山城 聡	コロナ禍等不測の事態における教育活動の推進に関する研究
66	沖縄県立那覇工業高等学校	外間 昌繁	ICTを活用した学校行事の効果的な運営方法の研究
67	沖縄県立西原高等学校	安次富 利恵子	学習保障に向けたオンライン授業の研究
68	沖縄県立与勝高等学校	宮城 保	新学習指導要領に基づく「観点別評価」の導入に向けたオンライン授業・講演会等の活用とその効果
69	沖縄県立知念高等学校	仲宗根 勝	指導と評価の一体化を目指した各教科の校内研究 ～オンライン及び書籍からの情報収集で評価観の刷新を図る～
70	沖縄県立宜野湾高等学校 通信制課程	仲宗根 勝	ITツールを介して生徒・教師間のコミュニケーションの向上を図り、学習の理解度を高める指導の工夫
71	沖縄県立具志川商業高等学校	與那覇 さゆり	総合的な探究の時間でのICT能力向上の実践事例 ～具商デパートのネットショップ販売を通して～
72	沖縄県立鏡が丘特別支援学校	座間味 恵利子	特別支援学校における道徳の指導と評価の一体化
73	沖縄県立沖繩ろう学校	安里 吉実	本校におけるESD(持続可能な開発のための教育)の実践方法の研究について
74	沖縄市立コザ小学校	桑江 常健	「主体的・対話的で深い学び」につながる学習指導法の工夫 ～「問い」が生まれる授業づくりを通して～
75	糸満市立高嶺小学校	奥平 美智子	「自分の思いや考えをもち、表現できる児童の育成」～国語科における「書くこと」の授業づくりを通して～
76	糸満市立真壁小学校	渡辺 英二	主体的に学び合い自分の考えを表現できる児童の育成 ～知識や体験と思考をつなげる国語科の授業づくりを通して～
77	糸満市立湖平小学校	平良 全	自分の考えをもち、表現できる児童の育成 ～思いや考えを伝え合う力を高める指導方法の工夫・改善を通して～
78	恩納村立山田小学校	山内 久江	学ぶ意欲を持ち、自分の考えを説明できる児童の育成
79	豊見城市立上田小学校	照屋 力男	自分の考えをもち、広げ深める児童の育成 ～国語科の文学的文章における対話的な活動の工夫を通して～
80	那覇市立神原小学校	石垣 史昭	個別最適な学びを目指した教科等横断的な単元づくり
81	豊見城市立ゆたか小学校	宮平 やすみ	言葉を広げ、みがき、対話で深める子どもの育成 ～「問い」を持って主体的に学びに向かうためのしかけ作りを通して～
82	糸満市立西崎小学校	賀数 哲也	自己肯定感を育む「魅力ある学校づくり」の取組
83	中城市立中城小学校	崎濱 陽子	「授業・教室環境・人的環境」をユニバーサルデザイン化したカリキュラムマネジメントの推進
84	沖縄市立諸見小学校	渡久地 裕子	小高(職業高校・特別支援学)連携によるキャリア教育の推進 ～学校課題の改善に向けて～
85	久米島町立仲里小学校	儀間 実子	よりよい自分・集団づくりを目指した学級活動の工夫 ～学級活動(1)(3)の充実・推進を通して～
86	西原町立坂田小学校	金城 明美	校内研修を通じ、根拠を持ち対話できる児童の育成を図るため、国語の講師を招聘し実践研究する。
87	浦添市立仲西小学校	石川 博久	学級活動を要としたキャリア教育の充実 ～互いを認め合い、自己有用感を育む活動を通して～
88	北中城村立北中城小学校	甲斐 達二	文章を正しく読む力を身に付ける指導の工夫 ～説明的文章を通して～
89	竹富町立船浦中学校	宮城 裕子	「持続可能な担い手」を育む「炭焼き体験活動」の工夫 ～地域、PTAとの連携をとおして～
90	那覇市立石田中学校	新垣 康史	自ら学習に取り組み、思考・判断・表現できる生徒の育成 ～石田中授業スタイルによる授業改善を通して～
91	名護市立大宮中学校	喜友名 悟	本音で想いを伝え合う生徒を育み、大宮中文化を創造する活動の充実を目指す
92	糸満市立三和中学校	與島 康仁	主体的な学びにつなげる学習指導と評価の工夫
93	糸満市立西崎中学校	神里 一吉	生徒一人ひとりの自己実現に向けて ～主体的な学びに向けての学習支援を通して～
94	西原町立西原中学校	友寄 ゆかり	地域資源・人材との協働によるキャリア教育の新たな取組
95	豊見城市立豊見城中学校	川上 一	お互いを認め、思いやりと感謝の心を持ち、協力し合える生徒の育成
96	南城市立大里中学校	羽根田 幸江	確かな学力の向上を目指した学習指導の工夫・改善 ～学習指導要領における学習評価の工夫・改善を通して～
97	豊見城市立長嶺中学校	長田 宗彦	学校と地域が協働で緑化運動に取り組むことで、地域に愛着と誇りを持てる生徒の育成を図る。
98	沖縄県立北中城高等学校	田名 裕治	1. 進学希望生徒向け進路講和実施による生徒の進路選択支援拡充 2. 生徒の動意改善意識の高揚に向けた学校全体での生徒支援拡充
99	沖縄県立糸満高等学校	上原 源三	オンライン会議導入による職場環境整備の研究について
100	沖縄県立南風原高等学校	金城 毅	「併設校におけるインクルーシブ教育の推進に向けた取り組み」
101	沖縄県立辺土名高等学校	金城 栄一	生き物博物館を活用した環境教育 ～世界自然遺産登録を見据えて～
102	沖縄県立西崎特別支援学校	與儀 達子	リモート機器を活用した校内研修の充実を目指した研究
103	那覇市立壺屋小学校	浦崎 博美	「運動に親しみ、楽しんで運動に取り組む児童の育成」～協動的・対話的な体育授業・体育活動を通して～
104	豊見城市立座安小学校	具志 直哉	子どもが生きた主体的・協動的な学び ～児童が学び方を身につけ、児童主体で展開していく授業の追求～ 2年次
105	久米島町立比屋安小学校	平良 健治	言語学級における発音指導の充実に向けて
106	南風原町立北丘小学校	城田 由勝	思考力・判断力・表現力等の育成 ～算数科における互いに高め合う対話的な学びの工夫を通して～
107	那覇市立仲井真小学校	金城 和也	「問い」をもち、自分の考えを進んで表現する子どもの育成 ～算数科・自立活動の学習評価の工夫・改善を通して～
108	宮古島市立下地小学校	與那覇 修	主体的に学びに向かい、自分の考えを表現できる児童の育成 ～言葉に着目した国語科の授業を通して～
109	宜野湾市立大山小学校	宮城 信夫	自分の思いや考えを表現できる児童の育成 ～「書くこと」の学習過程における手立ての工夫を通して～
110	うるま市立中原小学校	大里 元児	主体的に学び、豊かに表現する児童の育成 ～国語科における説明的文章を中心とした授業改善を通して～
111	浦添市立沢砥小学校	金城 孝子	主体的で対話的な、つながる授業づくり ～国語科における、考えを明確にした「書くこと」の活動をを通して～
112	沖縄県立沖縄盲学校	村吉 和枝	視覚に障害のある幼児児童生徒一人一人を確実に育てる専門性の維持・継承・発展を目指して
113	沖縄市立美原幼稚園	仲村 恵子	幼稚園教育において育みたい資質・能力を踏まえた教育課程に基づく指導計画の作成や指導実践について

No.	学校名	学校長名	研究テーマ
114	宜野湾市立普天間第二幼稚園	知念 克治	思いやりを育むための援助の工夫 ～身近な人や環境とのかかわりを通して～
115	沖縄市立諸見幼稚園	渡久地 裕子	幼稚園教育について育みたい資質・能力を踏まえた教育課程に基づく指導計画の作成や指導実践について
116	西原町立西原東幼稚園	宮城 卓司	「幼児が好奇心や探究心をもって関われる環境の工夫」～継続して遊べるための環境構成～
117	恩納村立山田幼稚園	山内 久江	幼稚園教育において育みたい資質・能力を踏まえた教育課程に基づく指導計画の作成や指導実践について ～身近な人との関わり合いを通して～
118	沖縄市立室川幼稚園	上原 妙子	一人一人が笑顔で登園したくなる学校づくり ～授業改善と幼児理解の促進を通して～
119	うるま市立金城幼稚園	新城 雅文	基本的な生活習慣を育てるための援助の工夫 ～発達に応じた教材の活用を通して～
120	本部町立本部幼稚園	具志 順子	「子育て」を通して自分の体に気づき、健康な心と体の育成 ～心も体も元氣な本部っ子～
121	南風原町立津嘉山幼稚園	濱元 朝純	気持ちや考えを伝え合う力を育む環境構成と援助の工夫
122	那覇市立真嘉比こども園	宮良 利恵子	園内研修「新型コロナウイルス感染症に配慮した教育保育の充実」
123	今帰仁村立認定こども園 みらい	大城 禎美	保育環境を考える ～一人一人の意欲を育む環境づくり～
124	久米島町立久米島小学校	古賀 義之	互いに伝え合い、深い学びを追求する児童の育成
125	糸満市立兼城小学校	城間 優	伝え合う力を高める国語科の学習指導 ～対話活動における聞く視点の明確化を通して～
126	宮古島市立東小学校	下地 辰彦	気づき・伝え・活かせる児童の育成 ～東小スタンダード(体育版)の実践を通して～
127	宮古島市立久松中学校	垣花 秀明	授業内外におけるプログラミング教育の実施
128	宮古島市立鏡原中学校	天久 康	豊かな人間性を育む体験活動の実践 ～菊栽培プロジェクトを通して～
129	宮古島市立下地中学校	濱川 成共	生徒一人一人に「生きる力」の基盤となる「新しい時代をつくるために必要とされる資質・能力」を育む
130	沖縄市立美里小学校	伊波 みどり	読む力を身に付け、考えを広げ、深め、表現する児童の育成 ～国語科の見通し・交流・振り返りの工夫を通して～
131	沖縄市立安慶田小学校	松堂 直美	自分の思いや考えを表現できる子どもの育成 ～共に学び合い、考えを深める授業づくりを通して～
132	浦添市立牧港小学校	宮里 晋	環境に関わり、主体的に行動する資質・能力の育成 ～身の回りの環境に気づかせる学習活動を通して～
133	那覇市立城北中学校	仲盛 康治	キッズレジャープログラムを活用した情操教育 ～革を活用した物づくり、命を頂く感謝の心の育成～
134	那覇市立首里中学校	比嘉 俊博	全教科で取り組む書くことの再構成を取り入れた話し合い活動の実践
135	那覇市立安岡中学校	比嘉 真一郎	コロナ感染症対策といかなる場合でも学びの保障を充実させる学校教育の充実
136	浦添市立浦西中学校	當間 五弥	生徒一人一人の確かな学力と規範意識を向上させ「生きる力」を育む ～教職員の参画意識・共通実践・目標管理を高める学校経営・運営を通して～
137	石垣市立伊原間中学校	仲吉 永克	確かな学力を身に付け、未来を拓く生徒の育成
138	多良間村立多良間中学校	垣花 正人	学習コミュニティを広げ、生徒の表現力、豊かにする他校との交流を目的としたICTの活用
139	南城市立佐敷小学校	前城 光告	「学びに向かう力」と思考力・表現力を育む授業改善の工夫 ～主体的・対話的で深い学びを通して～
140	沖縄市立美原小学校	仲村 恵子	自分の考えをもち、表現できる児童の育成 ～支持的風土を基盤とした授業展開を通して～
141	今帰仁村立今帰仁中学校	大城 正章	GIGAスクール構想実現の基盤づくりに関する研究 ～積極的なオンライン研修の活用を通して～
142	沖縄市立美東中学校	田港 朝満	学校での学びと社会、生き方をつなげる教育 ～地域資源を活用した美術授業実践を通して～
143	沖縄県立コザ高等学校	宮城 薫	ICTを活用した次世代の学習環境の構築
144	沖縄県立美里高等学校	仲舛 盛順	コロナ禍における、効果的なライブ配信とオンライン授業・会議の拡充に向けた取り組み
145	沖縄県立開邦高等学校	大瀨 裕司	開邦高等学校芸術科美術コースにおける表現活動の充実 ～生徒一人一人の自由な創作表現を目指して～
146	西原町立西原東小学校	宮城 卓司	数学的な思考力・表現力を育む授業づくり ～言葉や数、式、図などを使って考え、表現する活動を通して～
147	うるま市立あけな小学校	平田 治子	自分の考えを持ち説明できる児童の育成
148	那覇市立城岳小学校	大田 佳世子	「数学的に考える資質・能力の育成 ～数学的活動を通して～」
149	那覇市立真嘉比小学校	福本 利江子	生きた芸術にふれ感動を体験しよう ～打楽器とマリンバ演奏を通して～
150	那覇市立金城小学校	平良 雅司	筋道を立てて考え、表現する力を高める算数科指導の工夫 ～指導と評価の一体化を踏まえた授業改善～
151	那覇市立大名小学校	宮平 利志	主体的に学ぶ大名城っ子の育成 ～「数学的な見方・考え方」を働かせた、数学的活動の充実を通して
152	那覇市立垣花小学校	宮城 弘之	思考力・判断力・表現力等を育てる授業の充実 ～文学的文章における言語活動の指導の工夫を通して～
153	南城市立玉城小学校	伊良部 孝	自分の考えを持ち、学び合う児童の育成 ～思考ツールを用いた授業づくりを通して～
154	豊見城市立豊見城小学校	佐久本 広志	花を愛し、人を愛する、心豊かな児童の育成をめざして ～学校・地域連携の花作りを通して～
155	石垣市立新川小学校	黒島 善一	学校と地域活動の連携向上 ～地域学習や体験学習を通して～
156	沖縄市立山内中学校	仲宗根 賢	生徒の思考力・判断力・表現力を高め、主体的に学ぶ生徒の育成 ～生徒の実態に応じた授業改善を通して～
157	浦添市立神森中学校	東江 功子	GIGAスクール構想におけるタブレット端末を活用した授業の充実を図るための校内研修・教材研究の工夫
158	石垣市立石垣第二中学校	友利 始夫	生徒一人一人の「確かな学力」を向上させ、「生きる力」を育む
159	沖縄県立真和志高等学校	儀間 昌子	新型コロナウイルス感染症対策に伴う、福祉科における生徒の資格取得を目指した支援研究

へき地学校教育支援事業助成 37校 1,850,000円 2021(令和3)年度実績

No.	学校名	学校長名	研究テーマ
1	伊江村立伊江小学校	小波津 京子	主体的・対話的で深い学びを追求する児童の育成
2	伊江村立西小学校	宮城 康人	島建ちの教育(夢は世界へ、心に古里を) ～タイムマシンで地域の文化や歴史を学びどこでもドアで世界を学ぶ～
3	伊平屋村立伊平屋小学校	大城 健	伝え合うことのできる児童の育成 ～様々な場面で話し合う場を設定し、考えを伝え合う活動の工夫を通して～
4	北大東村立北大東中学校	島袋 勝範	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
5	座間味村立慶留中学校	二宮 陸生	へき地、小規模校における音楽科の授業改善 ～リコーダーアンサンブルへの挑戦～
6	座間味村立座間味中学校	平良 真也	幼少中連携による幼児児童生徒の健全育成 ～幼少中連携行事の充実を通して～
7	渡嘉敷村立阿波連小学校	石川 朝彦	聴き合い・学び合う児童の育成 ～算数科における「対話」と「協同的な学び」のある授業づくりを通して～
8	座間味村立阿嘉中学校	大城 真哉	主体的に学習に取り組む、自分の考えを表現できる幼児児童生徒の育成 ～複式・少人数における学習指導の工夫を通して～
9	渡嘉敷村立渡嘉敷中学校	大城 正篤	小中連携を目指した児童会・生徒会活動 ～愛汗(あいかん)活動を通して～
10	南大東村立南大東中学校	望月 雄紀	主体的・対話的で深い学びに繋げる授業改善の工夫 ～児童生徒の学びを見取る視点の探求～
11	渡名喜村立渡名喜中学校	比嘉 清	特別に支援を要する児童生徒への理解と支援体制の構築
12	久米島町立仲里小学校	儀間 実子	よりよい自分・集団づくりを目指した学級活動の工夫 ～学級活動(1)(3)の充実・推進を通して～
13	南城市立久高小学校	島袋 成良	ねばり強く自ら学ぶ児童生徒の育成 ～充実した「振り返り」の実践を通して～
14	南城市立久高中学校	島袋 成良	ねばり強く自ら学ぶ児童生徒の育成 ～充実した「振り返り」の実践を通して～
15	宮古島市立北小学校	砂川 靖夫	つながりを大切に、未来を創れる子の育成 ～主体的な学習活動を育む教育課程の実現～
16	宮古島市立福嶺小学校	西里 純二	「子どもたちが、自身が目指してきた成長を感じる力」を身につける」
17	宮古島市立池間小中学校	平良 吉嗣	サバ操船に挑戦しよう
18	宮古島市立城辺小学校	池村 敏弘	主体的・協同的に取り組む子どもの育成 ～対話でつなぐ授業づくりを通して～
19	宮古島市立城東中学校	比嘉 豊樹	「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」～カリキュラムマネジメントを視野に入れた、単元配列表の作成・活用を通して～
20	竹富町立波照間小中学校	金城 聡	ものづくり人材育成プロジェクト
21	竹富町立鳩間小学校	片平 雅明	我が島、我が町と海ぬ美しさに誇りを持ち、未来に羽ばたきたい島っ子
22	竹富町立鳩間中学校	片平 雅明	我が島、我が町と海ぬ美しさに誇りを持ち、未来に羽ばたきたい島っ子
23	石垣市立石垣第二中学校	友利 始夫	自主的な家庭学習の充実を目指して
24	与那国町立与那国中学校	寺村 有美恵	主体的・対話的で深い学びを保障する指導 ～生徒の学習の質を高める振り返りの工夫～
25	竹富町立船浮中学校	中山 盛延	「確かな学力を身に付けさせ、主体的に学ぶ児童生徒の育成」～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりへ～
26	石垣市立新川小学校	黒島 善一	身近な環境に目を向け、環境を大切にしていこうとする態度や能力を育成する
27	竹富町立白浜小学校	武富 悟	児童の主体的に学ぶ意欲を高める活動の充実
28	石垣市立真喜良小学校	比嘉 真弓	「なりたい自分」「なれる自分」を見つめ自らの生き方を考える力を身につけた児童の育成
29	石垣市立名蔵中学校	池田 幸作	共に認め、高め合う道徳教育の推進と授業改善を通じ、自ら学び心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指す
30	竹富町立竹富中学校	下地 和美	掃除いっばい・花いっばい・元氣いっばいの竹富っ子
31	与那国町立久部良小学校	田島 正敏	数学的に表現し、伝え合う力を育てる指導の工夫 ～算数科における交流活動を通して～
32	竹富町立黒島中学校	與世山 操	環境整備及び学校美化の充実
33	石垣市立川平中学校	大城 豊	豊かな心を育む道徳教育の推進 ～授業と学校生活をつなぐ、自分づくり仲間づくりを通して～

No.	学校名	学校長名	研究テーマ
34	与那国町立久部良中学校	宮良 篤	環境教育
35	竹富町立大原小学校	石垣 永一	主体的に学ぶ子の育成 ～対話的な学びを通して考えを深める授業づくり～
36	石垣市立富野小中学校	市原 教孝	子ども・保護者・地域・職員、みんなの自己肯定感を高め、笑顔あふれる学校づくり
37	石垣市立崎枝中学校	嘉良 寧	崎枝地域の人材と豊かな自然環境を生かした教育活動の推進

教育団体研究助成 30団体 7,820,000円 2021 (令和3) 年度実績

No.	所属所名	No.	所属所名	No.	所属所名	No.	所属所名
1	沖縄県教職員組合	9	沖縄県小学校長会	17	沖縄県立学校事務長会	24	沖縄県女子体育連盟
2	沖縄県教職員組合国頭支部	10	沖縄県中学校長会	18	沖縄県立学校事務職員協会	25	沖縄県へき地教育研究連盟
3	沖縄県教職員組合中頭支部	11	沖縄県高等学校長協会	19	沖縄県中学校文化連盟	26	沖縄県マルチメディア教育研究会
4	沖縄県教職員組合那覇支部	12	沖縄県特別支援学校長会	20	沖縄県学校安全教育推進協議会	27	沖縄県理科教育協会
5	沖縄県教職員組合島尻支部	13	沖縄県公立小中学校教頭会	21	沖縄県高等学校進路指導研究会	28	沖縄県特別支援学校情報教育研究会
6	沖縄県教職員組合宮古支部	14	沖縄県高等学校教頭・副校長会	22	沖縄県高等学校定時制通信制教頭・副校長協会	29	沖縄県高等学校物理教育研究会
7	沖縄県教職員組合八重山支部	15	沖縄県特別支援学校副校長・教頭会	23	沖縄県学校体育研究連合会	30	沖縄歴史教育研究会
8	沖縄県高等学校障害児学校教職員組合	16	沖縄県公立小中学校事務職員協会				

教育研究大会助成 5団体 350,000円 2021 (令和3) 年度実績

No.	団体名
1	全国高等学校長協会家庭部会 九州地区連絡協議会
2	全九州中学校長研究会沖縄大会実行委員会
3	沖縄県商業教育研究会
4	全国高等学校教頭・副校長会全国大会運営委員会
5	全国公立高等学校事務職員協会九州協議会

教育実践研究論文 ※校種別学校コード順

最優秀賞 (2編) 研究助成金 (個人15万円・共同20万円) 2020 (令和2) 年度実績

No.	学校名	職名・氏名	研究テーマ
1	那覇市立泊小学校	教諭 長嶺 文士郎	学校に根付き、心と体と郷土の伝統文化を尊重する態度を育む空手の教材化 ～「ラジオ空手」の開発と運用の工夫を通して～
2	石垣市立崎枝小中学校	教諭 林 達也	八重山産ニゴルーを学習教材へ ～地域資源を存分に活用し、地元を愛し自然を保護する生徒の育成～

優秀賞 (6編) 研究助成金 (個人10万円・共同15万円)

No.	学校名	職名・氏名	研究テーマ
1	那覇市立若狭小学校	養護教諭 喜久山 聡子	ヘルスリテラシーを高める、保健教育の展開 ～体育科と「保健室における個別の指導や日常の学校生活での指導」との連携を通して～
2	那覇市立大道小学校	教諭 新里 さつき	平和を継承する心情を育てる平和学習の指導の工夫 ～大道小学校の歴史とひめゆり学徒隊のつながりを探究する活動を通して～
3	豊見城市立豊崎小学校	教諭 長門 照乃	考え、深い学びにつながる道徳授業の在り方 ～新たな価値を創り出す対話・話し合い活動を通して～
4	石垣市立平真小学校	教諭 小渡 陽子	医療的ケアを要する重度・重複障がい児童の交流及び共同学習の取り組み ～学び合える関係を目指した学習支援の工夫～
5	沖縄県立宮古総合実業高等学校	教諭 安座間 康	科目「課題研究」におけるプロジェクト学習を通して思考力を育む農業教育の取り組み ～地域資源にこだわった商品開発による、ビジネスプラン作成を通して～
6	沖縄県立大平特別支援学校	教諭 山口 飛	重度知的障害のある自閉症児を対象とした行動支援に関する研究 ～自傷行動の弱体化と望ましい行動を引き出すための ABA アプローチ

優良賞 (30編) 研究助成金 (個人5万円・共同10万円)

No.	学校名	職名・氏名	研究テーマ
1	うるま市立高江洲小学校	教諭 亀島 優実	実生活に生きる質の高い言語活動の充実を目指して ～説明的文章を中核にした授業改善～
2	うるま市立宮森小学校	教諭 糸数 真弓	生活科における深い学びを目指した指導の工夫 ～思考スキルの活用と単元構成の工夫を通して (第1学年)～
3	那覇市立安謝小学校	教諭 桑江 和子	いじめを自分事として考えることのできる道徳の授業の工夫 ～「わたしのいもうと」を教材とし、中井氏のいじめ理論を取り入れる取組を通して～
4	南大東村立南大東小中学校	教諭 高野 亮	自己有用感を高める学級活動の工夫 ～学級生活上の課題を解決するための話し合い・実践を通して～
5	浦添市立宮城小学校	教諭 根間 成美	自己理解を深め、互いのよさや可能性を発揮できる児童の育成 ～キャリア教育の要である特別活動「学級活動」の実践を通して～
6	糸満市立西崎小学校	教諭 仲間 雅子	価値内容を自分事として捉える児童の育成 ～発問の工夫や吹き出し、ふりかえりの視点を活用した学びを通して～
7	糸満市立西崎小学校	校長 大湾 悟誠 教頭 富山 誠	自己肯定感を育む「魅力ある学校づくり」の取組 ～生徒指導、校内研、学力向上推進等を連携したチーム学校としての取り組みを通して～
8	宮古市立北小学校	教諭 砂川 晃輝	仲間とともに主体的に運動に親しむ児童の育成 ～運動の楽しさを味わいながら体力向上につながる取組を通して～
9	宮古市立北小学校	教諭 博一 優子 佐久本 拓実	ウィズ コロナ時代のオンライン学習活動 つながりを大切に、集団としてのアイデンティティを形成する学びの場～
10	宮古市立砂川小学校	教諭 下地 成子 平良 真由美 下地 勲	国語科における「資質・能力」を意識させた教科指導の工夫 ～子どもの姿を出発点とした授業作り～
11	宮古市立東小学校	教諭 平良 優	主体的に文字認識を高める外国語活動の在り方 ～第3学年におけるアルファベット大文字指導を通して～
12	竹富町立上原小学校	教諭 磯川 祐樹	持続可能な社会の創り手となる児童の育成 ～ESD の視点を持った防災教育を通して～
13	宜野座村立宜野座中学校	校長 伊波 寿光 教諭 伊藤 大輔	様々な角度から迫る学級の集団作り ～学級通信を核とした自己肯定感と他者理解の育成を通して～
14	今帰仁村立今帰仁中学校	教諭 北島 幸三	PISA 型読解力を向上させる社会科授業の研究 ～学力下位層に学力を定着させる取り組みを通して～
15	那覇市立鏡原中学校	教諭 川上 真紀	外国語科 (英語) における「コミュニケーションを図る資質・能力の育成」に向けた取り組み ～教科で共通した Warm-up 活動や技能統合型の授業実践を通して～
16	沖縄県立宜野湾高等学校	教頭 知花 史尚 教諭 大城 貴宏 前川 栄人	全校体制で学ぶ喜びを再起動し修学に導く取組 (県立コガ高校での実践H30年度・R1年度) ～中退対策から学びの継続支援を図るメンタル支援と実感学習を通して～
17	沖縄県立陽明高等学校	教諭 金城 文子	生徒が主体的に取り組む授業実践 ～Researcher-Like Activity を取り入れた数学の授業～
18	沖縄県立浦添工業高等学校	教諭 田中 正一	主体性を育成する課題研究 ～地域貢献に関する課題解決型学習 (PBL) の研究を通して～
19	沖縄県立那覇国際高等学校	教諭 金城 優輝	主体的・対話的で深い学びを目指した数学教育の授業づくり ～伝え合う活動を多く取り入れたペア学習を通して～
20	沖縄県立豊見城南高等学校	教諭 川満 仁乃	効果的なライティング力を育成する授業の工夫 ～Web教材 ForAllRubrics, Kahoot!, Quizlet を活用したライティング活動を通して～
21	沖縄県立八重山高等学校	教諭 東江 造	オンライン授業の研究について ～Zoom を活用した主体的・対話的で深い学びの実践～
22	沖縄県立八重山商工高等学校	教諭 玉城 弘明	科目「プログラミング」における学習指導の工夫 ～アルゴリズムの「可視化」を通して～
23	沖縄県立名護特別支援学校	教諭 又吉 直毅 青木 桂	軽度知的障害のある高等部生徒の「役立ち感」に根ざした働く意欲を育む取り組み ～企業と連携した産業コース「職業」の授業実践を通して～
24	沖縄県立桜野特別支援学校	教諭 佐喜真 輝佳	肢体不自由児の主体的な活動を目指した「桜野オセロ」の授業実践 ～身体障害者ができる新たな集団スポーツの開発～
25	沖縄県立大平特別支援学校	教諭 安里 常幸	知的障害児の肥満改善にむけた取り組み ～食生活習慣に焦点をあてた指導の実践～
26	沖縄県立西崎特別支援学校	教諭 森 陽平	知的障害を有する生徒の自立を促す日常生活の指導 ～保護者と連携した入浴指導の取り組みを通して～
27	沖縄県立八重山特別支援学校	教諭 小渡 晋二郎	共に学び合い、自己有用感を高める指導の工夫 ～宮良小学校との交流及び共同学習とプログラミング的な活動を通して～
28	沖縄県立八重山特別支援学校	教諭 戸ヶ瀬 哲平	描画指導における言語活動の工夫 ～見えたものを意識するための言語化を通じた描画活動の実践～
29	沖縄県立総合教育センター	主任研究主事 林 尚美	沖縄のメダカを知っていますか ～これからの沖縄の生物多様性を守る子供たちのために～
30	沖縄県教育庁宮古教育事務所	主任指導主事 上田 達大	課題解決に向け能動的・自律的に学ぶ態度の育成 ～学習リーダーと「学び方」を意識した授業展開を通して～

③ 教育文化事業 豊かな文化を育むために

◎2021(令和3)年度

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、八重山地区で予定していた「クラシックコンサート」が中止となったため、新たな事業として、教育文化助成を始めました。「いっこく堂講演会」は、国頭・中頭地区で一部調整の上、実施予定となっています。文化講演会は、第29回教育実践研究論文表彰式(2022(令和4)年1月22日(土))において、前川喜平氏(元文部科学事務次官)を講師に「憲法・教育の今と日本の未来」のテーマで予定しています。ご期待下さい。

教育文化助成 20校 2,000,000円 2021(令和3)年度実績

No	学校名	学校長名	テーマ
1	うるま市立田場小学校	稲福 盛也	児童会を中心とした児童の自主的な活動の推進を通して、自己肯定感の高い児童を育てる
2	嘉手納町立嘉手納小学校	平良 好光	地域伝統文化の継承を目的とした教育活動(運動会エイサーによる取り組み)
3	北谷町立浜川小学校	山城 勝美	浜っ子学習発表会(SDGs達成を見通した学習発表会)
4	那覇市立上間小学校	新垣 千子	上間小学校創立45周年 教育文化活動
5	与那原町立与那原東小学校	新垣 典彦	コロナ禍における、体力向上の取り組み ~主体的に体力向上に取り組む児童をめざして~
6	八重瀬町立具志頭小学校	吉村 聡子	地域教育資源(人・物・事)など「具志頭の宝」再発見
7	南城市立船越小学校	天久 三千代	令和3年度 校内合唱コンクール
8	糸満市立糸満小学校	金城 光吉	糸満小学校地域の旗頭振興会と連携した児童への継承活動
9	石垣市立大本小学校	金城 一石	野鳥観察 総合的な学習の時間の学習課題として野鳥観察を实践し、学習成果発表会にて活動報告をしている。
10	石垣市立伊野田小学校	真玉橋 真由美	「伊野田の文化つたえ隊」 ~伊野田の歴史や文化・芸術について学び伝えよう~
11	竹富町立竹富小学校	下地 和美	竹富島の文化継承 ~神司から学ぶ「種取祭」の由来と御獄の制す活動、「テードンムニ」かるたの活用~
12	学校法人カトリック学園 海星小学校	崎山 麻希	児童の読書環境充実のための図書購入
13	竹富町立西表小中学校	仲地 みゆき	和紙作り体験学習
14	石垣市立石垣小学校	磯部 大輔	身近な目標に向かって挑戦し、学びや育ちを実感することで、将来の夢を描くことができる児童の育成事業
15	石垣市立白保小学校	入高西 清幸	1. 学校・家庭・地域と連携した持続可能な取り組み 2. 学校行事(運動会)及び白保の郷土文化の継承
16	石垣市立崎枝小学校	嘉良 寧	花いっぱい 笑顔いっぱい 活動
17	石垣市立野底小学校	宮里 満男	総合的な学習 島の自然 ウミシヨウブの観察 校内研修 自他を認め合い目標達成に向けて努力する子の育成
18	宜野湾市立志真志幼稚園	天願 直光	「考えたり表現しながら主体的に遊びを創り出していく子の育成」をテーマとし、園内研究の充実を図る。
19	幼稚園型認定こども園 学校法人ひまわり子ども学園 牧港ひまわり幼稚園	伊波 枝美子	第49回ひまわり子ども音楽祭
20	社会福祉法人 沖繩松楓会 幼保連携型認定こども園 なごみの広場	杉本 洋介	心もからだも育つ園庭環境づくり

2.福祉事業

※ 会員の福祉の充実に努めています ※対象の会員とは、基本の教弘保険に加入している教弘会員

2020(令和2)年度実績 (4,741件 16,174,970円)

区分	件数	金額
1.結婚祝金	149	1,490,000円
2.出産祝金	289	1,445,000円
3.入学祝金	274	1,370,000円
4.健康増進補助 「人間ドック・脳ドック」の補助	3,716	11,147,970円
5.宿泊補助	301	602,000円
6.研修旅行補助	12	120,000円

◆日教弘ライフサポート倶楽部 お問合せ先

「日教弘ガイダンスセンター」
tel: 0120-371-969
受付時間 9:30~17:00(土日祝日を除く)

「日教弘ライフサポート倶楽部」
ホームページ <http://www.nikkyoko.net/>



退職予定者説明会 11月、12月に6地区で実施予定

2021年度退職予定者説明会及びセミナーを11月(定年)、1・2月(早期退職)に下記の通り行います。

八重山	11月20日(土) 午前 / 2月12日(土) 午前
宮古	11月21日(日) 午前 / 2月13日(日) 午前
国頭	11月27日(土) 午前 / 2月 5日(土) 午前
中頭	11月27日(土) 午後 / 2月 5日(土) 午後
那覇	11月28日(日) 午前 / 1月29日(土) 午前
島尻	11月28日(日) 午後 / 1月29日(土) 午後

教弘参事紹介

教弘参事の皆さんが学校等にお伺いして(公財)日教弘沖縄支部の事業内容についてご説明させていただいております。どうぞよろしくお願い致します。

新任参事紹介



真喜志 昇

前 曙小学校校長 那覇地区担当

今年度5月より、日本教育公務員弘済会沖縄支部参事として活動させて頂くことになりました。

日教弘は、「将来を担う学生・生徒への奨学金の貸与・給付、有益な教育研究への助成、教育・文化への寄与、教育関係者の福祉の向上を図る」ことを目的に活動しています。今後も、子ども・教職員がより安心・充実して学習・教育に専念できるよう応援して参りたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。



仲間 靖

元 開邦高校校長
県立学校(国頭地区除く)担当



與古田 思信

前 兼原小学校校長
中頭地区担当



屋嘉比 邦昭

元 池間小中学校校長
宮古地区担当



金城 邦明

元 久志中学校教頭
国頭地区(県立学校含む)担当



金城 毅

元 米須小学校校長
那覇・島尻地区担当



石垣 幸子

元 名蔵小中学校校長
八重山地区担当

教職員のみなさま専用の保険 教弘まなびや スーパープラン

団体割引・損害率による
割引あわせて

約 **45%** 割引

※保険料は補償項目ごとに毎歳処理を行っております
※天然火災除補償部分の保険料は、団体割引30%のみ適用となります
※上記割引率は、団体総合生活保険(まなびや)に適用となります

教職員賠償責任保険 + 団体総合生活保険(まなびや)

□授業中に生徒がケガ、先生個人に損害賠償請求。

損害賠償金
お見舞金



□生徒を注意したら人格権の侵害と訴訟を起こされる。

争訟費用
損害賠償金



□部活動指導中にケガをする。

治療費



□自転車で他人にケガをさせる。

損害賠償金

自転車乗例にも対応!
自転車乗例にも対応!
自転車乗例にも対応!



□新型コロナウイルスやO157等の感染症にかかった。



特定感染症の補償
＜特定感染症危険補償特約＞^{※1}
特定感染症を発病した場合に、後遺障害・入院・通院の各保険金をお支払いします。

例えば…
●新型コロナウイルス^{※2} ●O157 ●SARS ●結核 ●エボラ出血熱



※1 本特約は条件付特約です。

NEW
新型コロナウイルス^{(注)や}
O157等も
補償!

学校での業務中および日常生活における様々なトラブルから教職員のみなさまをお守りするために開発した教職員専用の保険です。

(注)2021年2月現在、新型コロナウイルス感染症(※1)は感染症法(※2)第6条第7項第3号に規定されている5. 感染症となります。
(※1)病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(2020年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限ります。)であるものに限ります。
(※2)感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律をいいます。

このご案内は、「教職員賠償責任保険」「団体総合生活保険(まなびや)」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款によりませんが、ご不明な点がございましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険㈱におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。
2021年3月作成 募集文書番号20-T06139

教職員・退職者およびご家族のみなさま向けの保険 教弘フルガード

団体割引・損害率による
割引あわせて

約 **45%** 割引

※天然火災除補償部分の保険料は、団体割引のみ適用となります

団体総合生活保険(フルガード)

退職後もご家族もしっかりとお守りします。

傷害事故(国内外補償)
被保険者(保険の対象となる方)が急激かつ偶然な外来の事故によりケガがこれらによる津波、保険金をお支払いします。天災(地震もしくは噴火またはこれらによる津波)によるケガについても補償します。
※教弘フルガードでは、病院保険金のお支払いは、1事故30日を限度とします。
※傷害事故については他の生命保険・共済の給付に関係なく、保険金をお支払いします。

ご自身のケガ



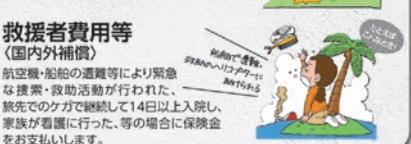
賠償事故(国内外補償)
日常生活における偶然な事故により、他人を死傷させたり、他人の財物に損害を与え法律上の賠償責任を負われた場合、保険金をお支払いします。また、訴訟費用、弁護士報酬または仲裁、和解もしくは調停に要した費用等もお支払できることがあります。
※国内での事故(医師が国外の裁判所に提起された場合を除きます。)に限り、訴訟交渉は原則として東京海上日動が行います。

相手の補償



携行品損害(国内外補償)
自宅外で偶然な事故により携行品に損害が生じた場合、保険金をお支払いします。(株券、クレジットカード、コンタクトレンズ等対象とならない場合があります)

持ち物・費用の補償



(注)2021年2月現在、新型コロナウイルス感染症(※1)は感染症法(※2)第6条第7項第3号に規定されている5. 感染症となります。
(※1)病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(2020年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限ります。)であるものに限ります。
(※2)感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律をいいます。

このご案内は、「団体総合生活保険(フルガード)」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款によりませんが、ご不明な点がございましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険㈱におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。
2021年3月作成 募集文書番号20-T06144

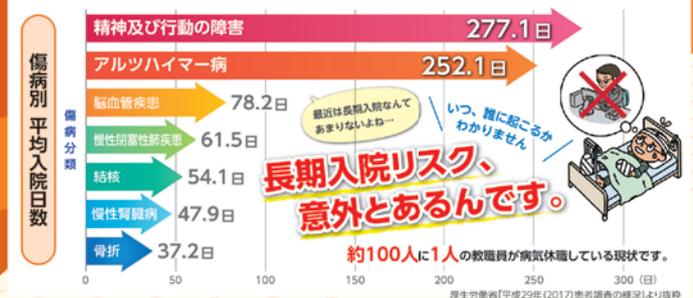
教職員のみなさま専用の団体長期障害所得補償 教職員収入 ロングウェイサポート

団体総合生活保険

団体割引
30% 割引

もし、ケガや病気で働けなくなったら…
そんなときの収入の減少を最長60歳の誕生日まで補償します。

詳細はこちらから →



NEW <認知症・メンタル疾患補償特約>
認知症・メンタル疾患への補償も充実!

- 病気休職者のうち約66%が精神疾患による休職です。
教職員の精神疾患による病気休職者数は平成19年度以降、5,000人前後で推移しており、平成29年度から増加しています。
- 精神疾患に加え「アルツハイマー病等」の認知症により働けなくなった場合に収入を最大5年間補償します。
(平成30年度厚生労働省公表資料より)

NEW <介護と仕事の両立支援特約>
働きのながらの介護を支援します!

働きのながら介護に従事する人 増加
平成24年度 291万人
平成28年度 346万人

介護による離職者数
急増
平成28年度 7.5万人
平成29年度 7.5万人
(内閣府「令和元年度 高齢者白書」より)

近年、働きのながら介護に従事する人、離職する人が急増しています。
介護休業や短時間勤務中の収入を最大1年間補償することで、仕事と介護の両立をサポートします。

このご案内は、「団体総合生活保険」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款によりませんが、ご不明な点がございましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険㈱におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。
2021年3月作成 募集文書番号20-T06143

ホームページから資料請求いただいた方にもれなく粗品をプレゼント →
公益財団法人 日本教育公務員弘済会 www.nikkyoko.or.jp



各種保険のお申し込み・お問い合わせ資料請求先は

代理店 (株)沖縄教弘 TEL 098(867)1765
〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-7-12
提携・引受保険会社:東京海上日動火災保険株式会社 沖縄支店 沖縄支社
TEL 098-867-7733 (代表)

3. 共済事業 (提携保険事業)

※(公財)日教弘では60年以上にわたりジブラルタ生命と提携して共済事業(提携保険事業)を実施しています。



加入率は全国トップレベル

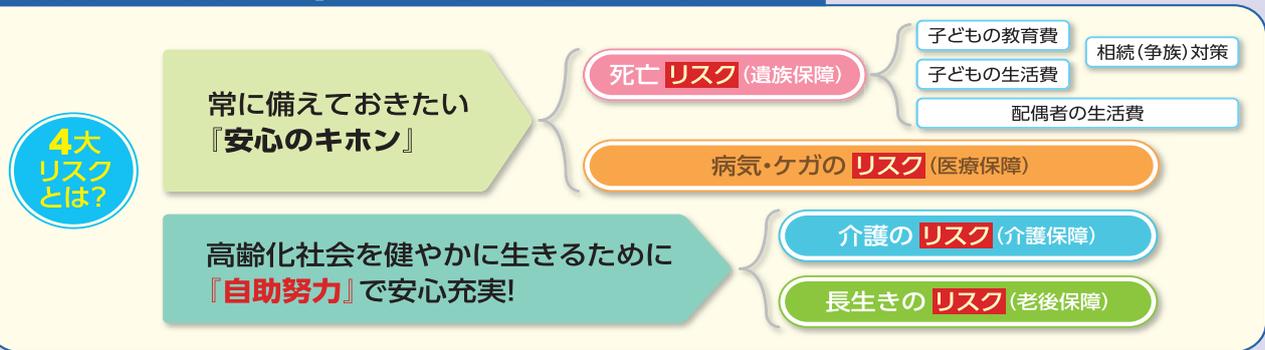
契約者配当金で教育振興事業に貢献しています。

リスクに備える

～「五はぬ先の杖」は「ご家族の“お守り”」でもあるのです～

いつも子どもたちのために全力投球されている教職員の皆さま。皆さまが安心して暮らしていくためには4大リスクへの備えが重要です。高齢化がますます加速している今、一度立ち止まって皆さまとご家族の将来について考えてみませんか？

現職中も退職後も『4大リスク』への備えは重要です！



『4大リスク』に対応する教職員の皆さまのための教弘保険ラインアップ

ユース教弘保険 災害割増特約付 集团契約特約付勤労保険	新教弘保険 集团契約特約付勤労保険	新教弘医療保険α (無配当) 医療保険(14) (保険料払込中無解約返戻金型)	新教弘介護保障付 終身保険 (無配当) 介護保障付終身保険 (低解約返戻金型)	新教弘米国ドル建 個人年金保険 (無配当) 米国ドル建 個人年金保険(19)
--	-----------------------------	---	---	--

公益財団法人 日本教育公務員弘済会(略称:(公財)日教弘)の教育振興事業(奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)及び福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

- ◆為替リスクについて——— 新教弘米国ドル建個人年金保険は米国ドル建てであり、米国ドルを円に換算するときに為替相場の変動による影響を受けます。したがって、年金受取総額等(米国ドル)を円に換算した場合の金額が、お申込みいただいた円建払込額(円建保険料)を下回ることがあり、損失を生じるおそれがあります。
- ◆ご契約にかかる費用について— 為替交換時(外貨⇄円)には為替交換手数料がかかります。また、保険契約の締結・維持、死亡保障に係る費用が発生します。
- ※ご契約の際はジブラルタ生命のライフプラン・コンサルタントを通じて「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。
- 記載の内容は2021年9月現在のものであり、今後変更されることがあります。

共済事業(提携保険事業) 提携会社 **ジブラルタ生命保険株式会社** 本社/〒100-8953 東京都千代田区永田町2-13-10 教職員のお客様 **0120-37-9419** (通話料無料) 高齢のお客様 **0120-16-7895** (通話料無料)

ジブラルタ生命 沖縄支社各営業所連絡先

営業所名	電話番号	FAX
名護	0980-52-2517	0980-53-3045
コザ第一	098-974-5231	098-974-5188
コザ第二	098-974-5233	098-974-5281
沖縄第一	098-860-1271	098-866-5408
沖縄第二		
沖縄第三		
沖縄第四		
豊見城第一	098-850-0805	098-850-0969
豊見城第二		
宮古島	0980-72-1766	0980-75-4717
八重山	0980-82-2733	0980-83-1635

こんな時はお電話を

- 病気やケガをされた場合
- ご登録いただいている内容に変更があった場合
- ご契約の内容を変更したい場合
- 保険証券をなくされた場合

その他、お気軽にご相談ください。

教弘保険に関するお問い合わせは、教職員専用ダイヤルへ

各種お問い合わせは、ジブラルタ生命コールセンターまで

教職員専用
通話料無料 **0120-37-9419**

※この他に一般顧客用 0120-37-2269 もご利用ください。

受付時間
平日 9:00~18:00
土曜 9:00~17:00
(日・祝・12/31~1/3を除く)

県内幼・小・中・高・特別支援学校の先生方へ新型コロナウイルス感染防止用マスク贈呈



沖縄教弘グループ((公財)日教弘沖縄支部、(株)沖縄教弘)では、感染拡大が収まらない新型コロナウイルス感染予防のため県内幼稚園(子ども園を含む)、小・中・高校・特別支援学校の先生方を対象に、感染防止のためのマスクを贈呈することとなりました。10月中には届くと思っておりますので、ご活用ください。



この「きょうこう通信 No.023」を
お届けしましたのは

営業所

です。

どうぞご覧ください